



I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸第二養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	植物や野菜の体のつくりを知ろう		
	単元(題材)の目標	1 植物や体のつくりについて知識を深めることができる。【知・技】 2 植物の体のつくりについての共通点や疑問点を見いだすことができる。【思・判・表】 3 学んだ知識を生かして、予想したり、疑問にもったりしたことを調べることができる。【主体的】		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 7 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	野菜の名称の知識はあるが、野菜が植物の体のつくりの中のどの部分から収穫され、自分たちがどこを食べているかを知らない生徒が多く、身近な野菜の知識が表面的なものになっている。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	パソコン、プロジェクター、iPad		
	使用したアプリケーションの名称	カメラ、Safari		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	容易にインターネットで調べることができる。		
活用の状況と支援	<p>課題に取り組む際に、自分の知識やそれらに関連付けても答えることが難しい場合を想定して、QRコードを活用して野菜の苗や、野菜の断面図などのページが表示されるような教材を作成し提示した。</p> <p>調べ方が分からない、調べているときに他のことが気になって、自分が知りたいページまでたどり着くことが難しい生徒にとって、QRコードをカメラアプリで読み取ることによってピンポイントに調べたいページにたどり着くことができ、集中して課題に取り組むことができた。</p>			